

2021年度

第69期 事業報告書

（ 自 2021年4月 1日
至 2022年3月31日 ）

- 事業報告書
- 貸借対照表
- 損益計算書
- 株主資本等変動計算書
- 個別注記表



くまだ株式会社

事業報告書

I. 会社の現況に関する事項

1. 事業の経過および成果

当期における我が国経済は、新型コロナウイルスの断続的な感染拡大により、前期に続き大きな打撃を受けました。感染力の強い変異株は、国内外のヒトやモノの自由な移動を阻害し、企業活動に暗い影を落としています。

しかし後半、欧米を中心に感染防止対策と社会経済活動の両立が図られ、世界全体では一部回復の兆しも見え始めました。今後新型コロナのような感染症は根絶するとは考えにくく、我が国もこれとどう付き合いながら経済を回していくかが問われるステージに入りました。

一方でロシアのウクライナ侵攻により、世界経済には新たな不安要素が加わりました。関連するエネルギー価格の高騰は、灯油・ガソリン・電気料金・包装資材などで大きなコストアップ要因になっています。

このような環境下、当社においては鋭意営業活動を進めて参りましたが、下記のような背景で売上は前年比 3.9%の減収となりました。

- ① 国内外の鮭鱒の大不漁により、水産部主力商品の筋子・いくら等の手配が十分できなかった。
- ② コロナによる出漁見合わせや漁獲減により、水産部主力商品の冷凍マグロ・カツオ等の手配が十分できなかった。
- ③ 記録的な凶作に伴い、食品部主力商品の梅干の規格変更や値上げにより売れ行きが大きく鈍った。
- ④ 外食部に関しては度重なる時短営業を強いられ、予定通りの売上を確保できなかった。

一方で当期は、単品毎に不採算取引を丁寧に見直し、利益の少ない取引を思い切って中止するなどし、採算があう商品への差し替えを進めて参りました。また適正な仕入を心がけ、値引き販売や廃棄等のロスをできる限り低減しました。このような地道な努力の結果、最終利益を改善することができました。

2. 今後の見通しと対処すべき問題

当期後半からは米国金利上昇に伴う円安が加速化し、ロシア／ウクライナ危機、中国のロックダウンも相まって、仕入商品の値上げラッシュが続いております。

競争もある中、売上を落とさず、この転嫁をどのように進めていくかが当社の最大の課題です。インフレの兆しも見える中、消費者に固い財布の紐を開いていただくのは並大抵のことではありません。魅力ある商品の発掘や製造にこそ解決策があると考え、今まで以上にこれを推進していきたいと考えております。

また当期は3千万を投じて基幹システムを刷新しました。これを有効に活用し、単品ごとの採算や在庫を細かく管理しながら、利益の向上に努めて参ります。

一方当社は現状深刻な人手不足を抱えている部門も多く、新システムを通して効率的な物流・製造を目指していきたいと考えています。

2022年5月30日に、創業の地の旭川で、外食2号店「釜炊きごはん・銀くま」を開業させる予定です。新型コロナにより3年越しの計画実現となりましたが、ご支援いただいた関係各位にはこの場をお借りして感謝を申し上げます。

「銀くま」では当社の商品を使った料理の提供のほか、自社商品を紹介・販売するコーナーを設けています。新店舗を一日も早く軌道に乗せ、長く地元で愛されるお店に育て上げたいと願っています。

3. 財産及び損益の状況の推移

区 分	第67期 (20年3月期)	第68期 (21年3月期)	第69期 (22年3月期)
売上高	4,480百万円	4,636百万円	4,454百万円
経常利益	10百万円	-26百万円	21百万円
当期利益	10百万円	-30百万円	20百万円
1株当り当期利益	56円83銭	-248円95銭	169円49銭
総資産	1,581百万円	1,576百万円	1,674百万円
純資産	324百万円	292百万円	310百万円

II. 株式に関する事項

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 発行済み株式の総数 | 140,000株 |
| 2. 自己株式 | 20,000株 |
| 3. 株主数 | 7名 |

III. 会社役員に関する事項（2022年5月25日現在）

取締役並びに監査役

氏名	地位	担当または職務
熊田 泰也	代表取締役社長	全般担当
小野 満	常務取締役	営業・製造担当
愛須 侑	監査役	

貸借対照表

(単位：円)

くまだ株式会社

令和 4年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	[875,994,323]	【流動負債】	[890,945,981]
現金及び預金	193,859,689	電子記録債務	34,811,911
売掛金	339,315,858	買掛金	59,049,389
商品	340,724,727	短期借入金	790,000,000
立替金	59,177	未払費用	2,245,088
未収入金	2,918,472	仮受金	6,184
仮払金	△422	預り金	1,037,109
前払費用	1,116,822	未払消費税	3,122,300
貸倒引当金	△2,000,000	未払法人税等	674,000
【固定資産】	[798,235,364]	【固定負債】	[473,242,119]
(有形固定資産)	(727,209,928)	長期借入金	457,210,000
建物	227,011,983	預り保証金	1,690,000
建物附属設備	21,842,262	役員退職慰労引当金	14,342,119
構築物	1,925,141	負債の部計	1,364,188,100
機械装置	15,222,914	純資産の部	
車両運搬具	51,760	【株主資本】	[310,041,587]
器具備品	15,402,935	[資本金]	[100,000,000]
土地	384,122,933	[資本剰余金]	[140,000,000]
建設仮勘定	61,630,000	資本準備金	140,000,000
(無形固定資産)	(24,687,456)	[利益剰余金]	[90,041,587]
電話加入権	1,756,058	利益準備金	25,000,000
ソフト開発費	22,931,398	(その他利益剰余金)	(65,041,587)
(投資その他の資産)	(46,337,980)	繰越利益剰余金	65,041,587
投資有価証券	38,974,950	(うち当期純利益)	(20,338,839)
出資金	110,000	[自己株式]	[△20,000,000]
保証金	3,798,830	自己株式	△20,000,000
事業積立金	3,454,200	純資産の部計	310,041,587
資産の部計	1,674,229,687	負債・純資産の部計	1,674,229,687

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

くまだ株式会社

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	4,454,831,019	4,454,831,019
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	309,794,388	
仕 入 高	3,663,659,800	
当期製品製造原価	69,522,631	
合 計	4,042,976,819	
期 末 棚 卸 高	340,724,727	3,702,252,092
売 上 総 利 益		752,578,927
【販売費及び一般管理費】		737,247,759
営 業 利 益		15,331,168
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	4,052	
受 取 配 当 金	987,210	
雑 収 入	10,648,187	11,639,449
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	5,927,778	
雑 損 失	30,000	5,957,778
経 常 利 益		21,012,839
税引前当期純利益		21,012,839
法 人 税 等		674,000
当 期 純 利 益		20,338,839

株主資本等変動計算書

くまだ株式会社

自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

株主資本			
資本金			
当期首残高		100,000,000	
当期末残高		<u>100,000,000</u>	
資本剰余金			
資本準備金			
当期首残高		140,000,000	
当期末残高		<u>140,000,000</u>	
資本剰余金合計			
当期首残高		140,000,000	
当期変動額合計		<u>0</u>	
当期末残高		<u>140,000,000</u>	
利益剰余金			
利益準備金			
当期首残高		25,000,000	
当期末残高		<u>25,000,000</u>	
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
当期首残高		47,102,748	
当期変動額	剰余金の配当	Δ2,400,000	
当期変動額合計	当期純利益	20,338,839	
当期末残高		<u>17,938,839</u>	
その他利益剰余金合計			
当期首残高		47,102,748	
当期変動額合計		<u>17,938,839</u>	
当期末残高		<u>65,041,587</u>	
利益剰余金合計			
当期首残高		72,102,748	
当期変動額合計		<u>17,938,839</u>	
当期末残高		<u>90,041,587</u>	
自己株式			
当期首残高		Δ20,000,000	
当期末残高		<u>Δ20,000,000</u>	
株主資本合計			
当期首残高		292,102,748	
当期変動額合計		<u>17,938,839</u>	
当期末残高		<u>310,041,587</u>	
純資産合計			
当期首残高		292,102,748	
当期変動額合計		<u>17,938,839</u>	
当期末残高		<u>310,041,587</u>	

個別注記表

くまだ株式会社

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券……移動平均法による原価法

たな御資産の評価基準及び評価方法

商品……………先入先出法による原価法

貯蔵品……………先入先出法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……法人税の規定による定率法(平成10年4月1日以降取得建物、平成28年4月1日以降取得建物付属設備及び構築物は定額法)

無形固定資産……定額法

長期前払費用……定額法

引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、債権の内容を検討して計上している。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金支給に備えるため、期末要支給額を計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

728,017,588 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式(発行済株式)

当期末株式数(発行済普通株式)

140,000 株

自己株式の種類及び株式数に関する事項

自己株式(種類及び株式数)

普通株式(自己株式)

当期末株式数(自己株式)

20,000 株

剰余金の配当に関する事項

令和4年5月25日開催予定の第69期事業年度の定時株主総会で決議予定

配当金の総額 2,400,000円

配当原資 利益剰余金

1株当たり配当金 20円

配当基準日 令和 4年3月31日

効力発生日 令和 4年5月26日

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額

2,583 円 67 銭

1株当たりの当期純利益金額

169 円 49 銭